

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和6年1月31日

公表:令和6年2月7日

事業所名 チャイルドウィッシュ三崎

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		玩具庫、倉庫などに整理整頓することで、広がりを作っています。	自由時間等において、運動する子と静かに読書する子を分けるため、読書コーナーを設置しました。
	2	職員の配置数は適切である	5	1		利用数に対して職員数が多い日もあり、今後利用促進を図っていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	毎朝の打ち合わせ等での会話を議題化し進めていきます。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		日々の送迎後の会話、ライン等での保護者とのコミュニケーションを進めています。	保護者向け評価表のわかりにくい文言について、わかりやすく伝えていくようにします。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	5		定期的な情報発信の手立てを工夫していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		外部評価に実施について検討を始めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			OJTに加え、外部で行われる研修にも参加する機会を求めていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		こどもの見取りに関しては、全員の職員参加で行っています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	3		アセスメントの手立てに有効なツールを求めて研修・研究を深めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		本日の活動について、毎日全員で計画準備しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		創作・運動・集団活動等、多岐に渡った内容になっています。	今後、活動を積み上げながら、活動の仕分けを進め、事業所の特徴に育てていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		毎日、昨日の振り返りと、本日の計画について話し合っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	支援後には特段の会議は設定しませんが、支援上の情報交換を毎日行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		保護者への毎日の様子を文章と写真にて提供しています。	左記の資料に加え、支援記録として付加情報を蓄積していきます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	4	職員全体で、毎日の意見交換の中で、子どもの状況について見直しの資料としています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	5		今後相談支援事業所との、情報交換の方策について相談支援事業所と連絡を密にし模索していきます。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		利用計画の共有や送迎時の意見交換に努めています。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	5		今後、こうしたケースが出てきた場合には、事前に子どもについての情報共有を行います。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				今後、こうしたケースが出てきた場合には、事前に支援内容等についての情報提供を行います。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2		資料提供に応じていただける機関から始めて、助言や研修の機会を得られるように模索していきます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3		児童クラブを併用している利用児童についての情報共有から関係を構築していきます。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2	部会の会議に加えて、子どもの作品展の開催について連携して行っています。	本会議に加えて、「こども部会」の研修・会議に積極的に参加し、他の事業所との交流を深めていきます。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		毎日の様子について文章と写真でお伝えしています。保護者からも好評を得ています。	未読の多い保護者については、メールでの情報提供や意見交換を増やしていきます。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	1	現在も、希望する保護者が来所されて相談を受け付けています。	保護者からの働きかけに加えて、事業所からも声かけしながら、個別支援の面談等の機会に行っていきます。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	相談コーナーを設置することで、相談しやすくなるよう工夫しました。	働いている保護者も気軽に相談できる手立てを考えていきます。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		父母の会の設置も含めて、気軽に保護者相互で情報交換ができる機会について検討していきます。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		子どもや保護者に相談する相手として選んでいただけるよう、対話を重視しています。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	5		定期的な情報発信の手立てを工夫していきます。	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		地域連携に関しては、どのような形で進めていくのがよいのかについて検討を加えていきます。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	5		職員間で緊急対応について具体的に話し合い、実効的な計画となるよう、現在のものを改めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		6		避難訓練の実施を月1回行うこととします。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2		虐待・身体的拘束に係る研修を複数回実施します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1		職員に、事前説明等で行われている内容について周知し、共通理解を図っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		5		医師の指示書等をもつ該当児童生徒が出た際連携連絡を必ず行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット記録を随時蓄積しながら対応を進めています。	